

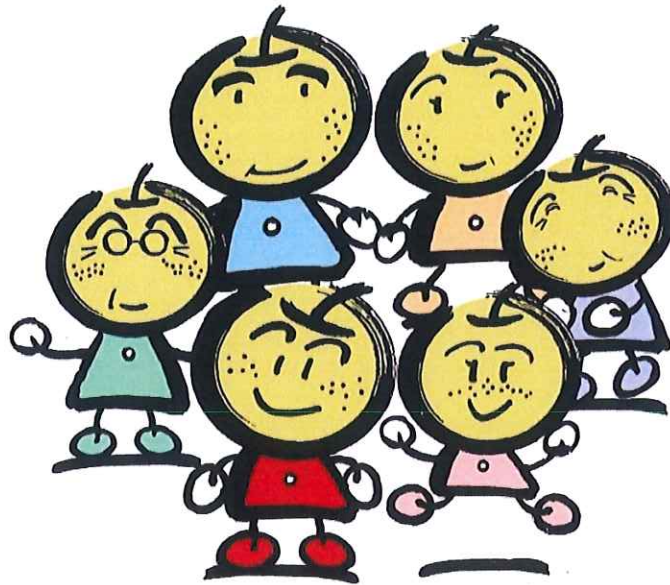
第72次印旛地区教育研究集会

学校事務分科会

第 3 分科会

「白井市学校事務職員の標準的職務の定着に向けて」

～事務の効率化・教育支援を行うために今できること～



千葉県白井市マスコットキャラクター「なし坊ファミリー」

- 提案者 白井市教育研究会 事務研究部  
白井市立白井第一小学校 浅井 亮太  
白井市立白井第三小学校 松井 千尋
- 司会者 白井市立七次台中学校 香取 由美子
- 助言者 白井市立大山口小学校 校長 和地 滋巳 氏

# 白井市学校事務職員の標準的職務の定着に向けて

## 「 事務の効率化・教育支援を行うために今できること 」

### はじめに

平成29年4月の学校教育法の一部改正により、事務職員の職務規定が「従事する」から「つかさどる」となりました。白井市立小学校及び中学校管理規則も令和4年4月改正され法的整備も徐々に進んでいるところです。

事務職員は専門性を生かし、より広い視点に立って、校長を経営面からサポートする役割を持つことが明確になりました。教員とは異なる視点から総務・財務等の専門性を持つ職員としてチームとしての学校への関わりが強く求められています。

白井市では、平成29年度より学校事務職員の資質向上を目指し、知識・技能の習得を図るための研究を進めてきました。

## 第1節 白井市の現状

### 1 白井市の概要

白井市は、千葉県の北西部に位置し、都心から30キロの距離にあり、東部は印西市と八千代市、南部は船橋市、西部は鎌ヶ谷市、北部は柏市の5市に接しています。都心までのアクセスの良さから東京のベッドタウンとして千葉ニュータウンとともに発展しました。平成13年4月に市制施行され、令和3年度に市制施行20周年を迎えました。

市の特産物は梨や自然薯で、給食の食材としても使われています。特に梨は全国でも有数の産地として知られており、市のマスコットキャラクターも梨をイメージした「なし坊」となっています。都市と自然の調和がとれたまちづくりが進められています。

### 2 事務職員の構成

市内の学校数は、小学校9校、中学校5校、合計14校です。事務長3名、主査2名、副主査2名、主事8名、総数15名で構成されています。

### 3 白井市の実践

#### (1) 研究部

年間4回の研修会を開催し、「白井市学校事務職員の標準的職務の定着に向けて」を研究テーマに「OJT・PC班」「学校予算班」の2班に分かれ研修を進めています。

#### (2) 共同実施

白井市の共同実施は、学校財務・情報の共有化、給与及びサービスの事務の適正な事務処理をテーマに実施しています。各中学校区を主体に3ブロックに分け編成しています。第1ブロックでは、「事務事例集」の見直し、修正を行い事務職員に周知を図っています。第2ブロックで

は、校務支援システムの活用、教職員向けに「お役立ち情報」の配信を行っています。文書管理について白井市教育委員会（以下市教委）と連携しデジタル化に向けて取り組んでいます。第3ブロックでは、校務支援システムを活用し、事務職員向けの「校務・スケジュール」を配信しています。また、「学校事務マニュアルの見直しと修正、教職員に周知を図り、事務処理の効率化に努めています。共通の業務として年間を通して給与事務書類の点検、相互確認を実施し、全体として臨時的任用事務職員・若年層事務職員配置校への業務の支援を行っています。中規模地区の特性を活かし、市全体での共同実施も有り、各ブロック間での共通理解を図るために毎月の事務担当者連絡会議の際に進捗状況の報告を行っています。

### （3） 事務担当者会議

市教委学校政策課が主催し、年11回開催しています。事務担当者会議後に、共同実施又は研修も行い、学校を空ける日を減らし、学校にいたることが教育支援につながると考えています。

## 第2節 白井市の研究

### 1 研究の目的

白井市事務研究部は「学校事務職員の標準的職務の定着に向けて」をテーマに研究を進めてきました。平成28年度提案での課題を受け、事務職員の資質向上と財務について研究を進めることとしました。若年層や臨時的任用職員に向けたサポートを図ることで事務職員の資質向上を図ること、白井市学校予算委員会発足に伴い財務の面から学校運営に参画することを目的に取り組んできました。

### 2 研究内容

#### （1） OJT班の取組

##### ① 研究経過

平成29年度より白井市事務研究部の活動方針が「学校事務職員の資質の向上を目指し、知識・技能の習得を図る」に設定され、班別に研究を進めることとなりました。新採用者や臨時的任用職員が市内に配属されたことをうけ、若年層事務職員のサポート・資質の向上を目的に、OJT班が編制されました。

#### 平成29年度

- 第1回 年間研修計画作成
- 第2回 転出入・服務・就学援助
- 第3回 予算委員会について
- 第4回 旅費・自家用車登録について
- 第5回 年末調整について
- 第6回 源泉徴収票・確定申告について
- 第7回 今年度の研修のまとめ・来年度の研修について

#### 平成30年度

- 第1回 就学援助関係について
- 第2回 予算について
- 第3回 年末調整について
- 第4回 退職手当について
- 第5回 確定申告・異動事務について
- 第6回 今年度の研修のまとめ・来年度の研修について

#### 平成31年度

- 第1回 再任用制度について
- 第2回 コクヨオフィス見学（部会事務研修会）
- 第3回 備品管理・整理について
- 第4回 給食事務・学校徴収金について
- 第5回 教科書給与事務について
- 第6回 転出入事務・就学援助について・研修のまとめ

#### 令和2年度

- 第1回 年間研修計画作成
- 第2回 校内予算委員会について
- 第3回 市会計について
- 第4回 校外学習・宿泊行事等に係る事務について
- 第5回 臨時的任用職員について（服務等）
- 第6回 PC班との共同研修
- 第7回 今年度の研修のまとめ・来年度の研修について

#### 令和3年度

- 第1回 年間研修計画作成
- 第2回 学校予算・学校保健特別対策事業費補助金について
- 第3回～5回 中止
- 第6回 予算要望について
- 第7回 行政対象暴力対応について  
白井市学校事務サポートファイルの検討
- 第8回 白井市学校事務サポートファイルの検討
- 第9回 今年度の研修のまとめ・来年度の研修について

## ②具体的な取組

### 平成29年度の取組

平成29年度は、事務長1名・主査1名・副主査1名・主事2名（うち1名新規採用者）の5名で編制され、主にリーダー層が毎回交代で講師となり、資料等を準備し若年層に向け解説をしました。

#### 平成30年度の取組

平成30年度は、事務長1名・主査1名・副主査1名・主事4名（うち2名新規採用者）の7名編制でスタートしました。第1回就学援助・第2回予算の研修では、市教委の各担当者に講師を依頼し、ミニ研修会を開催しました。第4回退職手当については、市内全小中学校で購入している市販の事務ソフトを使用し、退職手当の書類の作成について研修しました。

#### 平成31年度の取組

平成31年度は、主査2名・副主査2名・主事4名（うち1名臨時的任用職員）の8名編制でスタートしました。年度当初、若年層を対象に研修したい内容を確認し、疑問点やより深く研修したい内容を聞き取りテーマとしました。第3回の備品管理・整理については、市内の事務職員にアンケートを取り、各学校の備品管理や整理の状況を把握しました。また第5回の教科書給与事務については、前年度同様市教委の担当者を講師にミニ研修会を開催しました。

#### 令和2年度の取組

令和2年度からPC班との合同研修となり、事務長2名・主査1名・副主査1名・主事4名（うち2名臨時的任用職員）の8名編制でスタートしました。内容をより充実させるため、各々が実践している事を持ち寄り発表し合いました。また初の試みとして、主事の2名がテーマを決め資料を準備し説明を行いました。

#### 令和3年度の取組

令和3年度は、事務長1名・主査1名・副主査1名・主事5名（うち2名臨時的任用職員）の8名編制でスタートしました。コロナ禍の影響で研修会が中止となることが多く、予定していた「白井市学校事務サポート」ファイルについて、PCを活用し市内事務職員へ使用説明等を行うことができませんでした。年度途中での研修計画の変更も多く、その都度内容を検討し研修を行いました。

### ③PC班の発足

白井市では、全小中学校で市販の事務ソフトを公費で購入し使用していました。変更点は各学校でアップデートし、常に最新の状態で使用可能でき、とても便利に活用していました。しかし、ここ数年でPCの入替やセキュリティの強化等により、各学校でのアップデートや、変更点の反映が迅速にできなくなってしまいました。また、人事異動により市外から転入してきた事務職員は、使用方法もよくわからず4月当初悪戦苦闘する場面も見られました。そんな中、販売元より販売を中止する可能性があるとの話があり、平成31年度にそれに変わる白井市独自の事務ソフトを作成するPC班の発足が検討され始めました。市内の事務職員から現在使用している市販ソフトについて意見を収集したところ、『使用しづらくなった』『使用できない』との意見が多く、この機会に市独自の事務ソフト「白井市学校事務サポート」を作成することが決定しました。班員の構成については、各班から2名をPC班として選出し4名編制として発足しました。

#### ④PC班の具体的な取組

平成31年度は年度途中から活動を始めました。市販ソフトで網羅している事務処理や様式等を、基本的にエクセルのファイルでできるところから作成していくことにしました。ベースとなるファイルは複雑なマクロ等は使用せず作成することにしました。

まず、どのような事務処理・様式を作成するか一覧を検討、作成を始めました。併せて、各個人で作成使用しているエクセルのファイルをサーバー上に保存してもらい、それらを統合・改良し作成を進めました。

令和2年度からは、PC班単独ではなく「白井市学校事務サポート」ファイルを作成活用していくことにより、初任者や転入者等のOJTとしても有効ではと考え、OJT班にPC班を吸収し、研究を進めることになりました。給与関係・旅費関係・サービス関係等できるところから少しずつ作成を進め、令和2年度第6回目の研修では進捗状況を報告し、一部入力の仕方について説明を行いました。

令和3年度からは「白井市学校事務サポート」ファイル内の充実をはかり、サーバー上に保存し、各学校で一部試用してもらい実際に活用できるよう進めています。

### (2) 予算班の取組

#### ① 研究経過

平成28年度印教研での提案での課題として予算委員会の実施の際には資料等が必要となること、配当予算額・執行状況把握・備品要望などの資料を作成するために市内の学校で共有できる部分の情報収集をし、有効活用できるように発信していくこと、があげられました。この課題を受け、平成29年度より班別研修として「学校予算」について研究に取り組みました。

平成29・30年度

- 予算編成における資料の作成
- 学級増・児童生徒増に伴う備品一覧の作成
- 学校令達予算配分の素案を提案
- 市育委との合同研修
- 次年度への予算配分率等について検討

平成31年度

- 白井市学校予算委員会の取組について
- 最低限度額保障にむけた調査について

令和2・3年度

- 白井市学校予算委員会にむけて
- 学校保健特別対策事業費補助金について
- 校内予算委員会について
- GIGAスクール構想にむけて

## ② 具体的な取組

### 平成29・30年度の取組

学校予算について、予算編成資料作成のために、印刷製本費等の支出項目の調査及び検討をしました。市教委担当者と予算について合同研修を行い、白井市の厳しい財政状況を踏まえ、充実した教育活動の保障のために共通理解を図りました。次年度への予算配分率等についても検討をし、市教委主催白井市学校予算委員会（以下、市予算委員会）が発足しました。年2回の開催で、令達予算の配分率、図書室購入予算、中学校部活動バス予算等について校長会代表3名、教頭会代表1名、事務部会代表1名、市教委5名で行いました。学校予算委員会は現在も毎年開催されています。

### 平成31年度の取組

学校予算についてより理解を深め、各学校での予算配当に市予算委員会を活用できるよう研修に取り組みました。例として卒業証書フォルダは各学校で発注するため、学校により仕様も様々であり、小規模校は配当予算が少ないにもかかわらず、1冊の単価が高額になります。各学校の実態を調査し、市予算委員会で市教委一括購入を要望しました。令和2年度からは市教委での一括購入となりました。

ピアノの調律やプールの塩素使用についても、児童生徒数で変わるものではないため、実態調査をし、市教委に最低額保障をしていただけるよう働きかけをしました。

### 令和2・3年度の取組

市予算委員会に向けて、事務職員対象に予算アンケートを毎年行っています。令和2年度は事務職員からの要望や意見に対し、書面での回答をいただくことができました。予算についてあまり説明がないまま、新年度がスタートするため、個人的に市教委へ確認していた事項がまとめられ、予算について理解を深めることができました。

令和2年度は感染症対策予算が国の補助金で配当され、各学校どのように執行していくのか手探りでした。共有フォルダを利用し、どのような執行をしているか情報提供し合い、他校の情報を参考に自校の執行を進めることができました。

しかし、令和2年度はコロナ禍のため、研修会が中止になることも多く、思うように進まないことも多い年度でした。

令和3年度も市予算委員会に向けて、事務職員対象にアンケートを行い、前年度より詳しく市教委より回答をいただきました。

次年度以降の市予算委員会に向けて、配分率や最低保障額の検討を行いました。他市町の配当予算と白井市の同規模校の配当予算を比較し、検討を行いました。白井市は予算が厳しい状況ではあるものの、学校の教育活動の運営に必要な予算を確保していくために要望を続けていかなければならない状況です。

そのためにも、市教委各課の予算について深く理解したいと思い、市教委予算について、また、市内児童生徒用机椅子についても入れ替えの計画があるということでしたので、市教委に研修会を依頼していましたが、コロナ禍のため中止となってしまったのはとても残念でした。

他市町と白井市の配当予算についても比較検討しました。白井市は学校の状況に応じて予算額の増減を調整できるものの、小規模校では配当予算額が少ないため規模に関係なく

必要な予算科目について十分配当できない現状があります。総額予算とは別に予算配当が行ってもらえることがよいのですが、白井市としては難しい状況です。別配当でなくても学校運営に支障をきたさないような最低限度額がどのくらいになるか等検討しました。

白井市財務規則には各学校で行う予算委員会（以下、校内予算委員会）が位置付けられています。現在どのように校内予算委員会が行われているかの現状を把握し、各学校でも有効的な予算執行が行われるよう、校内予算委員会を機能させることも大切です。白井市での現状を把握するためにアンケートを行い、今後の校内予算委員会開催・運営にいかせるよう研修をしました。

白井市の現状として13校が校務分掌上に位置付けられ、12校が開催しています。企画会議等を利用して行っている学校もあり、開催回数は1～9回と回数に違いはありません。予算委員会のメンバーとしては管理職・教務主任・事務職員で行う学校が多くみられます。開催したことにより、予算執行について興味を持ってもらうこと、校内の状況を理解してもらうことなど良かった面もありました。改善点もまだまだあること、開催できていない学校があることなどを踏まえて、今後も研修していきたいと思えます。

### 3 成果と課題

白井市事務研究部の研究テーマ「学校事務職員の標準的職務の定着化にむけて」を受け、OJT班では若年層の資質向上を目指し研修を進めてきました。白井市では、若年層や臨時的任用職員が増加傾向にあり、学校事務全体に係る知識や情報を得られるような研修は必要不可欠です。若年層からは『引き出しが増えた』『研修会でもらった資料を先生方に説明する際使用できた』『実務は実際行っていないでも研修を行ったことで知識が増えて良かった』との意見がありました。またリーダー層にとっても、『研修を行うことで、自分自身にとっても再確認できる場となった』との意見があり、全体の資質の向上につながっています。

今後は、若年層が主体となった研修会や講師を招いての研修会などを計画し、また「白井市学校事務サポート」ファイルの充実に向けて、班員一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

予算班では「財務」についてよりよい予算活用ができるよう継続研修を進めてきました。市予算委員会を開催し続けていることや、学校の要望も反映させていけたことは大きな成果となりました。

校内予算委員会では成果がある部分はさらに発展させ、課題については市内で情報を共有しながら、改善していきたいと思えます。

白井市は毎年学校配当予算が減額されています。規模の大小の差が大きく、小規模校での予算執行は厳しい状況が続いています。学校の現状を市教委とともに改善していけるよう今後も様々な視点から、予算を見直し続けることが大切だと考えています。

校内予算委員会・市予算委員会を有効的に活用し、限りある予算を子どもたちの教育支援に繋がるよう今後も取り組んでいきたいです。



## おわりに

白井市事務研究部では、「学校事務職員の標準的職務の定着に向けて」約5年間研究を進めてきました。研究を進めている中で、様々な課題も見えてきました。チームとしての学校作りのために事務職員としてできることを一つひとつ丁寧にすすめていきたいと思えます。

事務職員が学校にいる意味や職務権限が「つかさどる」に改められた意味を再度確認し、これからも事務の効率化・教育支援を図っていききたいと思えます。

# 資料編



上段：H30 下段：R1

	ブール				ピアノ調律				卒業証書				筆耕依頼				証書ホルダ・筒			
	H30 塩素代	R1 塩素代	塩素始	ブール 終了	グランド 台数	アップ ライト 台数	調律 業者	サイズ	印刷 (予定) 枚数	単価or 一律費 用	印刷 業者	筆耕 有無	筆耕 単価 円/人	証書 入れ タイプ	サイズ	注文 個数	単価	業者		
白井一小	¥44,474	¥0	/	/	2	/	スケルトン	A3	100	¥18,000	学校用品	有	¥10,000	フォルダ	A3	38	¥380	学校用品		
白井二小	¥0	¥0	/	/	2	1	伊藤楽器	A3	100	¥18,000	学校用品	未定		フォルダ	A3	20		グッテン		
白井三小	¥0	¥80,352	5/31	7/9	2	/	伊藤楽器	A3	115	¥300	学校用品	無		フォルダ	A3	126	¥294	グッテン		
大山口小	¥61,884	¥18,792	6/3	7/17	2	/	松野	A3	121	¥300	学校用品	無		フォルダ	A3	121	¥340	学校用品		
清水口小	¥43,740	¥57,672	6/5	7/12	2	2	伊藤楽器	A3	100	¥11,000	アッシュブラン	有	¥20,000	フォルダ	A3	65	¥370	学校用品		
南山小	¥81,756	¥95,040	5/24	7/11	3	/	伊藤楽器	A4	130	¥165	学校用品	有	¥200	フォルダ	A3	103	¥271	グッテン		
七次台小	¥63,560	¥75,600	5/20	7/18	2	/	スケルトン	A4	99	¥28,000	学校用品	無		フォルダ	A3	120	¥325	グッテン		
池の上小	¥66,960	¥92,800	5/23	7/16	3	1	伊藤楽器	A3	100	¥180	学校用品	有	¥200	フォルダ	A3	100	¥350	学校用品		
桜台小	¥55,836	¥57,672	5/25	7/12	2	/	スケルトン	A3	59	¥30,000	学校用品	無		フォルダ	A3	70	¥380	学校用品		
	H30 塩素代	R1 塩素代	塩素始	ブール 終了	グランド 台数	アップ ライト 台数	調律 業者	サイズ	印刷 (予定) 枚数	単価or 一律費 用	印刷 業者	筆耕 有無	筆耕 単価 円/人	証書 入れ タイプ	サイズ	注文 個数	単価	業者		
白井中	¥0	¥0	/	/	2	/	伊藤楽器	A3	65	¥30,000	学校用品	無		フォルダ	A3	50	¥370	学校用品		
大山口中	¥80,784	¥116,208	6/2	7/17	2	2	伊藤楽器	A3	48	¥30,580	学校用品	無		フォルダ	A3	260	¥450	学校用品		
南山中	¥0	¥0	/	/	3	1	スケルトン	A3	225	¥316	学校用品	無		フォルダ	A3	140		学校用品		
七次台中	¥29,916	¥48,600	6/7	7/12	3	/	松野	A4	143	¥280	学校用品	無		フォルダ	A3	191	¥325	グッテン		
桜台中	¥38,556	¥64,800	6/15	7/18	1	1	伊藤楽器	A3	82	¥30,000	学校用品	無		フォルダ	A3	81	¥370	学校用品		

## 予算アンケートまとめ

### 図書費について

○今年度の図書予算について、宮下文庫の寄付金のみとなったが、毎年整備率に応じて配当されていた図書予算はどこに消えてしまったのか。

令和4年度で宮下文庫の寄付は終わるが、令和5年度以降の図書予算は令和2年度以前のとおり配当されるのか。その場合の配当方法はどのように考えているのか。例年の整備率に応じて計算する場合、宮下文庫分も含めて計算されるのか。

### 感染症対策予算について

○来年度以降もコロナ感染の心配があるなら少しでも「感染対策予算」の配当がほしい補助金がないとするならば、市独自等での感染対策予算の検討をしているのか

### 備品について

○今年備品要望したものが、来年8月頃の納品では遅く、また要望した担当者が異動してしまうと、教育効果が薄れているように感じる。

前年度要望した備品が色々な状況により必要なくなったり、他の備品購入が優先順位があがる場合もあるので予算額内で学校で再度検討する機会がほしい。

また、早急に購入したい備品があっても、現状の予算配当だと消耗品しか購入できないため、市会計の消耗品と同じように備品予算を配当してほしい。

○カーテン等施設設備的なものは教育委員会事務局予算で購入できるとありがたい

○備品の配当ですが、小規模校は配当金額自体が少ないため授業をする上で必要な高額な備品が壊れても購入することが出来ない状況です。備品の配当金額を取り合うのではなく、特別配当的な枠を作っていただき教育活動の平等化を推進して欲しいです。

### 蛍光灯について

○蛍光灯について、「小中学校 LED 照明器具の改修に向けた検討」として整備手法について検討しているとのことでしたが、その後なにか展開はあったら教えていただきたい

### デジタル化について

○OGIGAスクール構想で様々なICT機器が学校に入っているが、壊れた時の対応などを明確にして欲しい。(市予算の修繕費をあてるのか等)

○デジタル化が進み、各学校での印刷量が増加したので消耗品費(コピー用紙代・インク代)を増やしてほしい

## 廃棄費用について

### ○粗大ゴミ・機密文書の費用について

学校に直接配当されている予算ではないですが、廃棄費用が高額になってしまうため、毎年処分できずにいる。あらかじめ分かっているものは予算の増額などしていただけるとありがたい

○備品等の処分費用が不足しており、廃棄できない備品等があり困っています。処分費用の配当額を増やして欲しい。

または、学校配当予算の一部（手数料や消耗品費など）を処分費用に流用させて欲しい

### ○卒業証書を教育委員会で一括購入してほしい

（市内統一したサイズ等）

○なるべく現状の予算配当額を来年度も維持してほしい。

予算編成配分基準は児童数減少のみでなく学級数も考慮していただけるとありがたい

### ○プリンター等の機器についての保守内容をわかりやすく説明してほしい

（リースなのか買い取りなのか等も含め）

補償内容がわかると業者へ問い合わせがしやすくなる

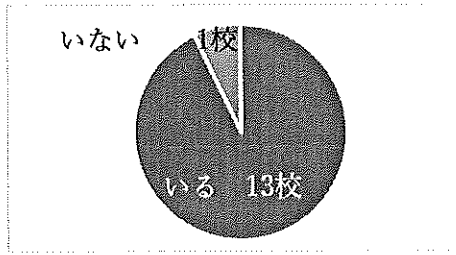
令和3年9月29日

第1回予算委員会意見（予算アンケート含む）に対する回答について （一部）

(1) 学校令達予算について

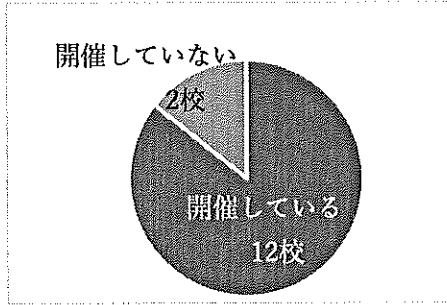
意見	回答
<p>●学校間での配当の融通の可否</p>	<p>【学校政策課】 原則、学校間の予算の融通はできません。</p>
<p>●消耗品等の令達予算配分について なるべく現状の予算配当額を来年度も維持してほしい。 予算編成配分基準は児童数減少のみでなく学級数も考慮していただけるとありがたい。</p>	<p>【学校政策課】 予算総額については昨年度ベースで要求します。</p>
<p>●備品について ①購入備品の変更 今年備品要望したものが、来年8月頃の納品では遅く、また要望した担当者が異動してしまうと、教育効果が薄れているように感じる。 前年度要望した備品が色々な状況により必要なくなったり、他の備品購入が優先順位があがる場合もあるので予算額内で学校で再度検討する機会がほしい。</p>	<p>【教育総務課・教育支援課】 備品の購入にあたっては、原則、入札又は見積り合わせとなり、当初予算成立後に実際の納品まで、どうしても必要な期間を要しますことをご理解ください。 やむを得ない事情により、予算要望時と変更が生じる場合は、入札等の手続き開始前までであれば、要望額の範囲内で変更は可能です。年度当初から入札等の手続きを開始する備品もありますので、2月末頃までにご相談ください。 ただし、配当とは別枠で要望した備品、管理備品⇄教材備品・理科振興備品間の変更はできません。</p>
<p>②大きな備品購入は、別枠を設ける また、早急に購入したい備品があっても、現状の予算配当だと消耗品しか購入できないため、市会計の消耗品と同じように備品予算を配当してほしい。</p>	<p>【教育総務課・教育支援課】 高額な備品等で、各学校に配分される予算で要望することが難しいものについては、予算要望時に別途ご相談ください。 また、備品等の故障等により緊急で必要になった場合についても、その都度ご相談ください。</p>
<p>③非常に高額な備品を購入した時は、他に何も買えなくなってしまうので、予算は単年度であるが、2年計画で備品を購入することは可能か。</p>	<p>【教育総務課・教育支援課】 ②の回答と共通</p>

【校務分掌上に校内予算委員会は位置づけられているか】

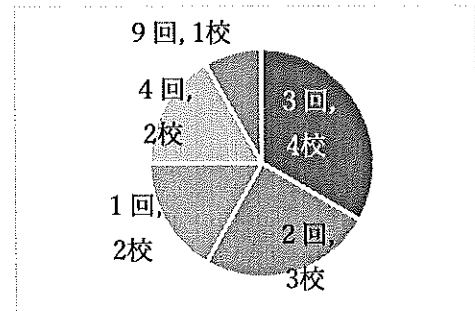


※単独の予算委員会としては開催していないが、企画会議等で予算について話し、校内予算委員会としている場合も含める

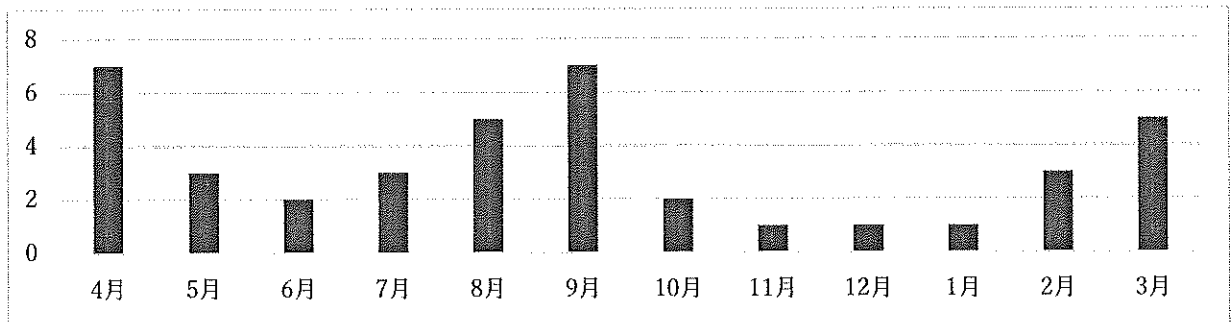
【現在、校内予算委員会を開催しているか】※



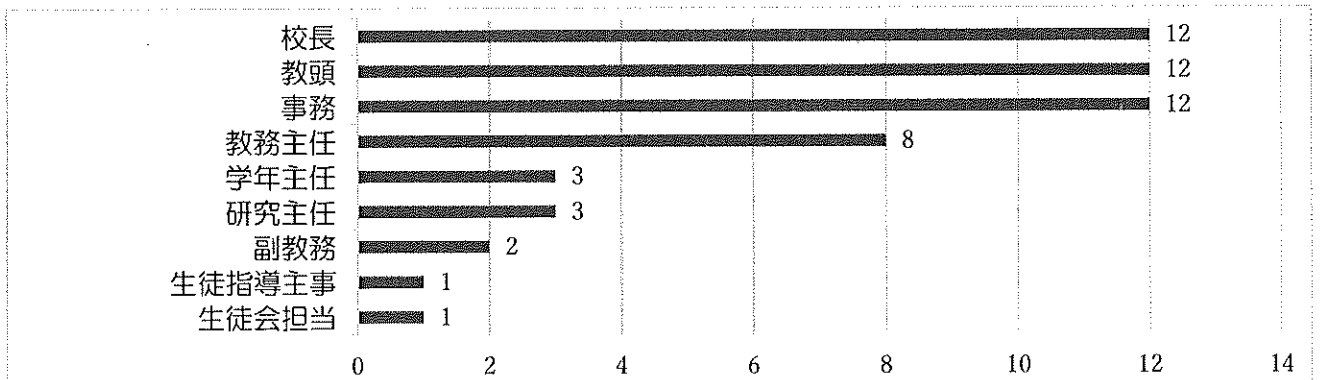
【年間の開催回数】12校回答 ※



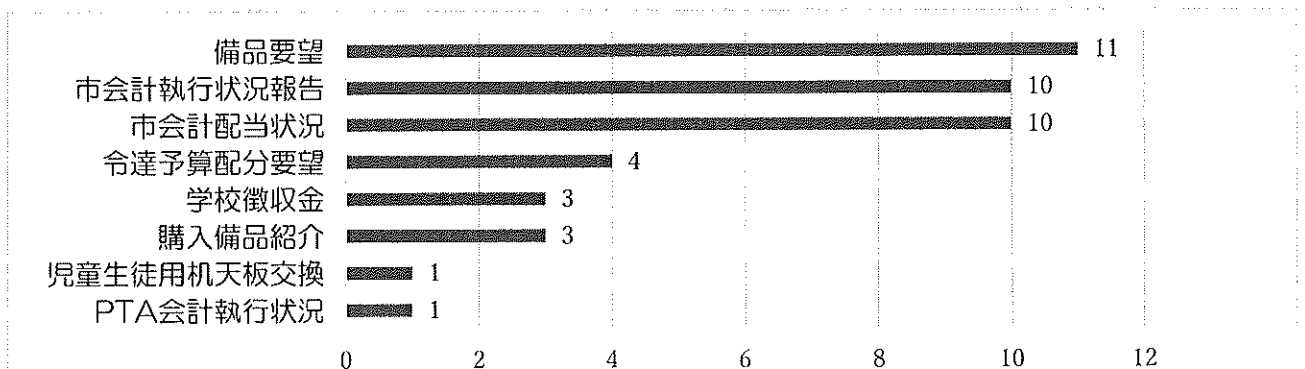
【校内予算委員会の開催時期】(12校回答)



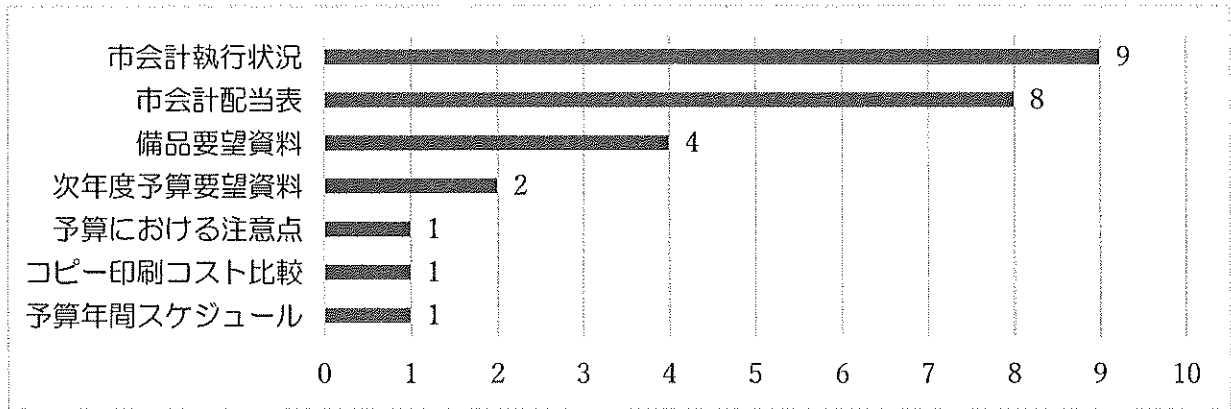
【校内予算委員会開催時のメンバー】(12校回答)



【取り上げている内容】(12校回答)



【提示している資料】（12校回答）



【開催していて良かったこと】

- ・執行状況等について周知でき、共通理解を図ることができる（5校）
- ・教員・管理職と意見交換することができ、共通理解ができ、協力をお願いできる（5校）
- ・予算の調整や、次年度の予算要望資料・備品要望を決定するときに有益だった（4校）
- ・職員の予算に対する意識・関心が高まった（2校）
- ・職員会議でも報告するため職員の反応を確認できる
- ・全職員に伝えるため、不公平感がなく予算執行することができる
- ・異動したばかりでも予算の執行について状況が把握できたこと

【開催していて困っていること・改善したいところ】

- ・学校徴収金について、会計担当者を集めて説明やアドバイス等ができるようにしたい
- ・きちんとした校内予算委員会のやり方がわからない
- ・企画会議などで時間を取りたいと思ってもなかなか取ることが出来ない
- ・職員全体に予算についての関心を持ってもらえるよう取り組みたい
- ・見やすくわかりやすい予算資料を作成したい
- ・教育予算を効率的に使えているか疑問が残る
- ・事務だよりで予算執行状況等を伝え、先生方に購入要望を投げかけているが、あまり返ってこない
- ・先生たちと会話をする中で、要望が出てくることが多いので、コミュニケーションを図ることを心がけているが、他校の取り組みも気になる
- ・校内予算委員会は開催しておらず、校長・教頭に予算の資料を渡して説明するだけになっている
- ・公務分掌では研究主任がメンバーになっているが、担任をしていることもあり、校長・教頭・教務主任・事務で開催してしまったこと
- ・校内予算委員会を単独で持つことが難しく、企画・職員会議等を利用している

【校内予算委員会を開催していない理由】

- ・やり方がわからない
- ・時間を確保できない
- ・資料を作るのが面倒
- ・事務便り等で十分周知できる
- ・校務分掌上の位置づけがないから
- ・異動してきて公務分掌上メンバーは確認したが、管理職からの説明も指導もなかった
- ・購入額の高い物は管理職に相談確認後購入している。毎月予算執行状況を報告している



白井市学校事務職員の  
標準的職務の定着に向けて  
事務の効率化・教育支援を行う  
ために今できること



はじめに

- 白井市立小学校及び中学校管理規則  
事務職員の職務規則  
「従事する」から「つかさどる」へ  
令和4年4月改正



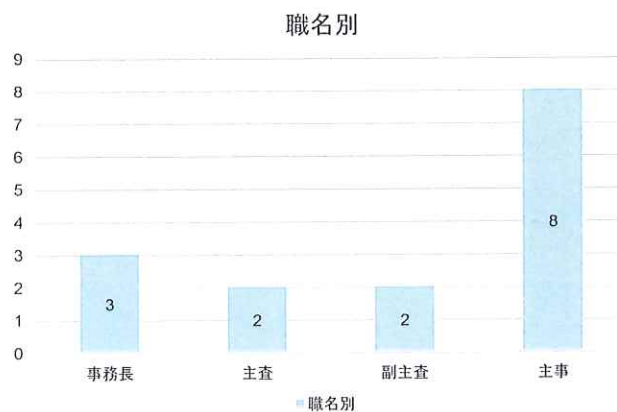
# 白井市の現状





## 白井市事務研究部組織構成

小学校 9校  
中学校 5校      合計 14校





# 白井市の実践

研究部

共同実施

事務担当者会議

# 白井市の研究



## OJT班の取組

### ①研究経過



## OJT班の取組

### ②具体的な取組



## 平成29年度

事務長1名・主査1名・副主査1名・主事2名(新規採用者1名)

- 第1回 年間研修計画作成
- 第2回 転出入・服務・就学援助
- 第3回 予算委員会について
- 第4回 旅費・自家用車登録について
- 第5回 年末調整について
- 第6回 源泉徴収票・確定申告について
- 第7回 今年度の研修のまとめ・来年度の研修について

## 平成30年度

事務長1名・主査1名・副主査1名・主事4名(新規採用者2名)

- 第1回 就学援助関係について
- 第2回 予算について
- 第3回 年末調整について
- 第4回 退職手当について
- 第5回 確定申告・異動事務について
- 第6回 今年度の研修のまとめ・来年度の研修について

## 平成31年度

主査2名・副主査2名・主事4名(臨時的任用職員1名)

- 第1回 再任用制度について
- 第2回 コクヨオフィス見学(部会事務研修会)
- 第3回 備品管理・整理について
- 第4回 給食事務・学校徴収金について
- 第5回 教科書給与事務について
- 第6回 転出入事務・就学援助について・研修のまとめ

## 令和2年度

事務長2名・主査1名・主事4名(臨時的任用職員2名)

- 第1回 年間研修計画作成
- 第2回 校内予算委員会について
- 第3回 市会計について
- 第4回 校外学習・宿泊行事等に係る事務について
- 第5回 臨時的任用職員について(服務等)
- 第6回 PC班との共同研修
- 第7回 今年度の研修のまとめ・来年度の研修について

## 令和3年度

事務長1名・主査1名・副主査1名・主事5名(臨時的任用職員2名)

- 第1回 年間研修計画作成
- 第2回 学校予算・学校保健特別対策事業費補助金
- 第3回～5回 中止
- 第6回 予算要望
- 第7回 行政対象暴力対応  
白井市学校事務サポートファイルの検討
- 第8回 白井市学校事務サポートファイルの検討
- 第9回 今年度の研修のまとめ  
来年度の研修について

## OJT班の取組

③PC班発足





## OJT班の取組

### ④PC班の具体的な取組



## 平成31年度

- ・OJT班、予算班から2名ずつ選出し  
4名で活動開始
- ・事務処理・様式の検討
- ・エクセルファイルの作成



## 令和2年度

事務長2名・主査1名・主事4名(臨時的任用職員2名)

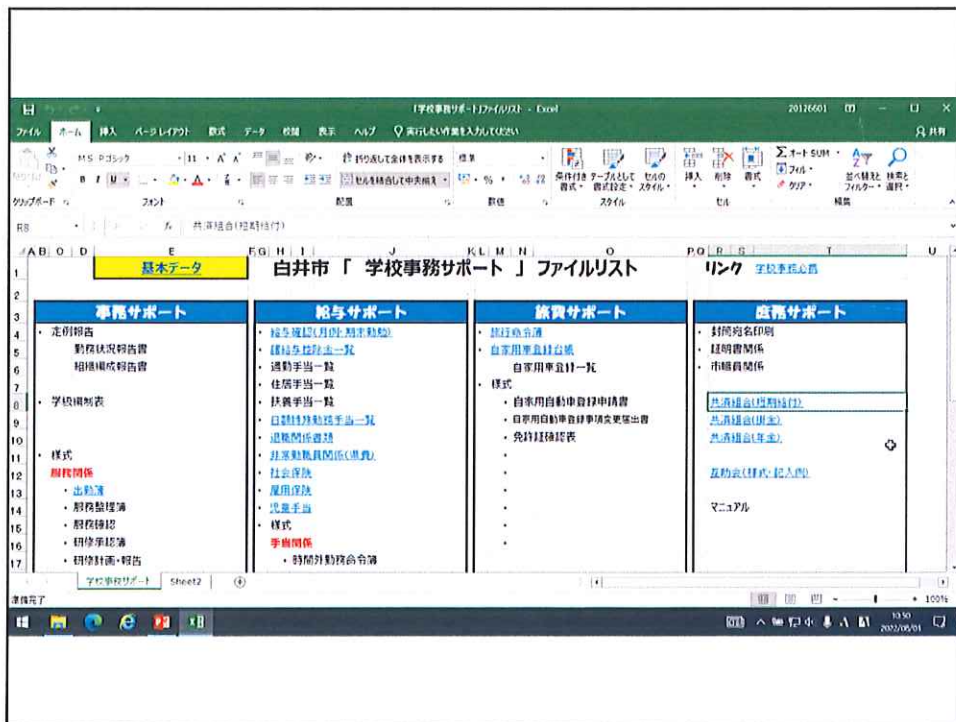
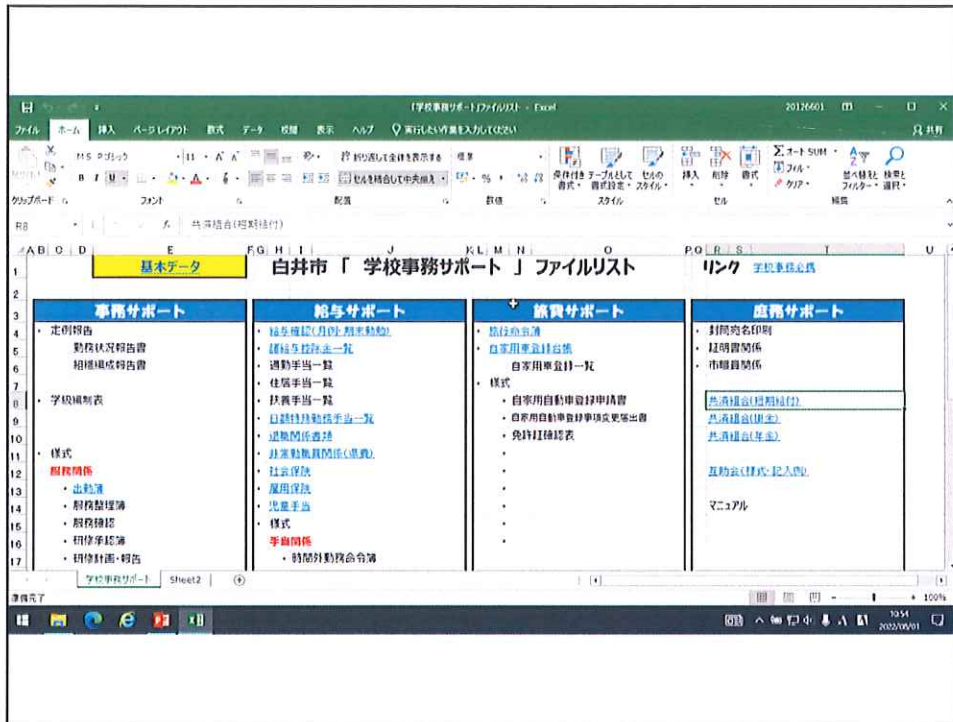
- 第1回 年間研修計画作成
- 第2回 校内予算委員会について
- 第3回 市会計について
- 第4回 校外学習・宿泊行事等に係る事務について
- 第5回 臨時的任用職員について(服務等)
- **第6回 PC班との共同研修**
- 第7回 今年度の研修のまとめ・来年度の研修について

## 令和3年度

事務長1名・主査1名・副主査1名・主事5名(臨時的任用職員2名)

- 第1回 年間研修計画作成
- 第2回 学校予算・学校保健特別対策事業費補助金
- 第3回～5回 中止
- 第6回 予算要望
- **第7回 行政対象暴力対応**  
白井市学校事務サポートファイルの検討
- **第8回 白井市学校事務サポートファイルの検討**
- 第9回 今年度の研修のまとめ  
来年度の研修について





## 予算班の取組



## 成果と課題



おわりに



白井市学校事務職員の  
標準的職務の定着に向けて  
事務の効率化・教育支援を行う  
ために今できること

